

	R5年度		R6年度				R7年度		
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
関連計画			■ 5/21 国 環境基本計画 (閣議決定)		■ 市10次基本計画 (成案)				
議会		● 2月議会 (改定着手)				● 2月議会 (骨子案)	● 6月議会 (素案)	◆ 9月議会 (策定報告)	
環境審議会			● 5/20 諮問	● 振り返り ・方向性	● 骨子案		◆ 答申		
作業部会			● 第1回 (振り返り・方向性) ● 第2回 (骨子案) ● 第3回 (素案) ● 第4回 (素案)						

パブコメ

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	令和6年8月6日	令和6年12月(予定)	令和7年3月(予定)	令和7年4月(予定)
検討事項等	○現計画の検証 ○福岡市の環境の現況・課題等 ○計画改定の方向性 ・計画の統合 ・施策体系 ・めざすまちの姿	○新計画の骨子案 ○成果指標	○新計画の素案	○新計画の素案

【市民意見報告】
・市基本計画アンケート

【市民意見報告】
・大学生ワークショップ
・環境フェスティバルアンケート

主な委員意見及び対応

1 局横断的な検討

- 作業部会で議論する際に、他局にオブザーバーとして参加してもらい、多様な分野の意見が聞ける場を設ける必要がある。
 - Fukuoka Green NEXT に関して、業務の縦割り感がある。局横断的に「ネイチャーポジティブ」について検討していくべき。
 - 生物多様性の保全のためには、森林の保全・再生について検討していく必要がある。
 - 福岡市の場合は、経済をどのように回していくかとの視点が大事であり、環境ビジネスについて積極的に議論すべき。
- 素案策定作業部会では多様な分野の意見が聞けるよう、特に関係の深い住宅都市局、農林水産局、経済観光文化局がオブザーバーとして参加

2 福岡市基本計画との関連

- 福岡市基本計画の分野別目標については、抽象的になりがちで、環境問題が悪化している現状において、環境問題が悪化している現状において、より市民の行動変容を促せる具体的な目標を設定できるとよい。
- 新たな計画において具体的な施策がイメージできるような文面となるよう検討

3 次期計画の内容

- Well-beingの視点から市民が環境問題を自分事として考え、一人ひとりが行動していく仕組みを作っていくことが重要。
 - 市民一人ひとりの「生活環境」をしっかりと考える必要がある。「生活環境」の豊かさがウェルビーイング、ひいてはグローバルな環境問題の解決に繋がる。
- 今回、Well-beingや生活環境の視点を踏まえた第四次計画の方向性案を示しており、今後具体的な内容について検討していく。